

会 派 活 動 報 告 書

令和 5 年 4 月 14 日

岡谷市議会議長

小 松 壮 殿

会 派 名 おかや未来研究室

代表者名 中 島 秀 明

令和 4 年度における岡谷市議会 会派「おかや未来研究室」の活動について、下記のとおり報告いたします。

活 動 項 目	活 動 内 容 及 び 活 動 の 実 績 と 効 果
調査研究	○活動内容 ① 4/7 「総務省地域力創生アドバイザー」について ② 5/27 長野県工業技術総合支援センター内に開所された「次世代高速通信モジュール評価試験拠点」(5G ラボ) の視察 ③ 7/2 「長野県動物愛護センター (ハローアニマル)」の施設視察と事業概要及び人と動物が共生する社会について ④ 10/11 会派「九州視察：大分県・宮崎県・鹿児島県」 〃 ○大分県臼杵市 「臼杵市有機農業の取組」 14 ○宮崎県都農町 「官民共創でデジタル化」 「ツノスポーツコミッションの取組」 ○宮崎県日南市 「日本一組み易い自治体の挑戦」 ○鹿児島県鹿児島市「国産原木調達～加工までの一環工場視察」 ○活動の実績と効果 ①総務省地域力創生アドバイザーとその取組についての説明と意見交換 ・日時：令和 4 年 4 月 7 日 PM:13:30～15:00 ・場所：会派室 地域力創生アドバイザー 近藤威志氏 概要： 地域力創造アドバイザーは、地域独自の魅力や価値の向上に取組むことで地域力を高めようとする市町村が、地域活性化の取組に関する知見やノウハウを有する外部専門家を招聘し、指導・助言を受けながら取組を行う場合の外部専門家に関する情報提供や招聘に必要な経費を総務省が支援する制度。 近藤氏は様々な地域で地域に寄り添い、地域で自走する事業づくり、遊休不動産の利活用、関係人口創出、産学官民連携等、「人・暮らし・地域・

	コミュニティ」をテーマに様々なアプローチで「場を起点とした地域と人の関係づくり」に取り組んでいる。 財政措置の対象市町村は、(1) 3大都市圏外の市町村 (2) 3大都市圏内の市町村のうち、条件不利地域を有する市町村、定住自立権に取り組む市町村及び人口減少率が高い市町村で、財政措置の内容は市町村外在住の外部専門家を年度内に延べ10日以上又は5回以上招聘して、地域独自の魅力や価値を向上させる取り組みを実施した場合に市町村に対して特別交付税措置をして、1市町村当たり民間専門家等活用(5,600千円/年)、先進自治体職員(組織)活用(2,400千円/年)で最大3年間助成。 地域力創造アドバイザー取り組み内容； (1) 「まち」の魅力の維持・向上(地域資源を活用した地域経済循環、まちなか再生、生活機能の維持、環境保全・SDGs、防災減災・危機管理) (2) 「ひと」の流れの創出・「ひと」を育てる(観光振興・交流、関係人口の創出・拡大、移住・定住促進、少子化対策、子ども・子育て支援、地域づくり人材の育成・教育) (3) 共通基盤、横串的な手法や取組(自治体経営イノベーション、シティプロモーション・地域PR)等。 国の制度は、活用、手続き、実施というステップを経るが、実施することによって大きな価値があるという意見が参考になった。 県内の中でも、人口減少、少子高齢化が著しく進む岡谷市にとって地方創生は喫緊中の喫緊の課題であり、国は予算措置等、様々なメニューを用意しているが、そうした制度等について常にアンテナを張り積極的に活用するという強い意識を持つことが重要と考える。 地方創生の特効薬は見当たらないという声もあるが、他自治体に後れをとることなく、市民の声に謙虚に耳を傾け、岡谷市の独自ブランドを大切にしながら緊張感と危機感を持って、まちづくりに取り組むこと必要となっている。 ②長野県工業技術総合支援センター内に開所した「次世代高速通信モジュール評価試験拠点」(5Gラボ)の視察 ・日時：令和4年5月27日(水) PM:13:00~15:00 ・場所：長野県工業技術総合支援センター 概要 5G/ポスト5G通信による次世代機器を対象とした電子材料評価、配線技術やモジュール性能評価など幅広い要素技術でハードウェア産業の支援を目的として、岡谷市にある長野県工業技術総合支援センター内に開所された「次世代高速通信モジュール評価試験拠点」(5Gラボ)の視察と施設機能の説明及び新設置機器等のセンター内の見学。
--	--

③長野県動物愛護センター（ハローアニマル）の視察

・日時：令和4年7月27日（水） AM:10:00～12:00

・場所：長野県小諸市 長野県動物愛護センター

概要：

ハローアニマルは、人と動物が共生する潤い豊かな社会を目指して、平成12年4月1日に小諸市に開設。設置・運営は長野県で、敷地面積 18,619 m²、延床面積 2,635 m²、建設事業費 1,934 百万円。所長の下で、そうだん課とふれあい課があり、獣医師6名、事務3名、会計年度任用職員3名の計12名で運営されている。

施設は、普及啓発棟（多目的ホール、ふれあいルーム、レクチャールーム アニマルシアター、図書館等）、飼養管理棟（パピールーム、ねこのプレイルーム、グルーミングルーム、観察室、隔離室、診察室、手術室、細菌検査室、事務室など）、屋外施設（やぎ飼養棟、屋外トイレなど）、駐車場（普通車50台、大型バス5台）。

ハローアニマルは、動物について学び、ふれあいを通じて命の大切さや相手を思いやる気持ちを育み、人にも動物にもやさしい社会を作ることを目指している。また、処分施設を併設しない、動物愛護に特化した施設となっている。

平成6年から令和3年までの、犬猫の保護・引取り、譲渡・返還等の推移を見ると全国平均と比較し大きな成果を挙げている。

また、地域猫の対応、災害時の同行避難等のポイントについても獣医である小平課長からポイントを聞くことができた。

動物ふれあい教室、出前教室、学校飼養動物支援、職場体験、困難を抱える子どもの動物介在活動による支援、高齢者・病院に対する動物ふれあい訪問の活動など動物と触れ合うことで人の心が癒され、命の大切さを学べる素晴らしい施設であり、今後、人と動物の共生できる岡谷市を目指して県施設であるハローアニマルとの連携も考えられる。

④会派視察 九州：大分県・宮崎県・鹿児島県

●「臼杵市有機農業」の取組

・場所：大分県臼杵市

・日時：10月12日（水） 9:00～11:00

概要：

臼杵市は主産業が造船業・醸造業・農業である。豊後水道に面した土地であり、臼杵の地魚「海のほんまもん」漁業の推進のためには、そこに循環する「水資源」を豊かにする必要があった。そのため循環型社会の構築を目指し「有機の里づくり」を進めるに至った。有機をおこなうには、土づくりからはじめなければならないとの専門家の意見を聞いた。「土づくりセンター」を作って「うすき夢堆肥」の製造販売を行なっているとのこと。

●「デジタルフレンドリー事業」官民共創でデジタル化

「ツノスポーツコミッション」の取組

- ・ 場所：宮崎県都農町
- ・ 日時：10月12日（水） 14:00～16:30

<デジタルフレンドリー事業について>

概要：

宮崎県都農町は、人口 10,265 人 世帯数 4,699 世帯、県都宮崎市と工都延岡市の中間に位置し、東西 15 km、南北 10 km と東西に長く、総面積は、102 km²。高齢化率は約 40%。デジタルフレンドリー推進事業は、コロナ禍で町が抱える課題とデジタル活用が不可欠と再認識して、町民誰もがデジタルを使いこなし、多世代多様な交流を楽しむことを目指し、令和 2 年 6 月に「デジタル・フレンドリー宣言」を行い、4 つの施策を実行している。

<一般社団法人ツノスポーツコミッションについて>

概要：

一般社団法人ツノスポーツコミッションはスポーツの振興のためでなく、まちの活性化のために活動している団体である。スポーツコミッションが都農町と誘致したスポーツクラブとの仲介を担っており、主に活動をしているのは地域おこし協力隊の方であった。ツノスポーツアカデミーは、Jリーグ昇格を目指すヴェロスクロノス都農のアカデミーチームを運営。町外、県外出身者がほとんどであり、2022 年度の所属選手は 11 名。「スポーツ」「生活」「教育」「職育」を通して少年期から青年期までの若者を育てる、地域を巻き込んだ独自のプログラムを展開している。一人のスポーツ選手である前に良き社会人として、地域社会の模範となり、地域を引っ張っていく人材の育成を目指す。さらにはこのプロジェクトを通して若者にとってチャレンジしやすいまちづくりを目指している。

●「日本一組み易い自治体」の挑戦

- ・ 場所：宮崎県日南市
- ・ 日時：10月13日（木） 9:30～11:00

●「(株) MEC 社 国産原木調達～加工までの一環工場」の視察

- ・ 場所：鹿児島県鹿児島市
- ・ 日時：10月13日（木） 14:30～16:30

概要：

- ・ 三菱地所グループを中核として、林業、建築業等の各分野の複数企業から出資の会社で 2020 年設立。

	・ 建築材料の仕入れ、製造、販売等が主な事業で、特に、以下の三つの事業を一括で行なっている。 (1) 新建材事業： RC 造等の配筋付デッキに木をプラスした新建材の開発・供給。天井や床等に木の良さを表現 (2) MOKUWELL 事業： 予め工場で部材を作り現場で組み立てる戸建住宅。コスト減や納期の短縮等にメリット (3) 木有活事業： 山林資源をフルに活用した商品の開発供給。森林資源の循環と新たな市場開拓を目指す ・ 鹿児島湧水工場は、林業・建築業の各分野に精通した複数の企業のノウハウを活かして、生産から加工・販売までを一気通貫で行なうことで、低コスト、高品質な商品の提供を目指して、今年 6 月より本格稼働している。 鹿児島湧水工場は、林業・建築業の各分野に精通した複数の企業のノウハウを活かして、生産から加工・販売 までを一気通貫で行なうことで、低コスト、高品質な商品の提供を目指して、今年 6 月より本格稼働している。
研 修	○活動内容 ① 4/11 議員研修「JIAM 令和 4 年度第 1 回市町村議会議員特別セミナー」 ② 4/28 林活議連研修会 「県産材の利用と地域づくり」 ○活動の実績と効果 ①「JIAM 令和 4 年度第 1 回市町村議会議員特別セミナー」 議員研修 ・ 日時：令和 4 年 4 月 11 日・12 日 ・ 場所：オンライン研修 【講義 1】 「地方行政と政策デザイン」 福井県知事 杉本達治 氏 概要： 福井県知事として県政運営の基本原則となる徹底現場主義（県民主役）に関する講義。 ①職員クレド → 志、お約束、行動規範 ②OODA（ウーダ）ループ ③若手職員のチャレンジ応援 ④チームふくい（市長連携 ⑤政策オープンイノベーション

⑥政策デザインはデータ重視

- ・これまでは経験や積み上げにより形成⇒ユーザー視点、全体を俯瞰、手法の最適化。
- ・デザイン思考 課題解決+価値創造（楽しさ、豊かさ、共感など）
- ・EBPM の活用 経験からデータへ
- ・行政サービスと納税地のギャップ:ふるさと納税制度
- ・大学定員の偏在

【講義 2】

「少子化問題の日本の特徴」

中央大学文学部社会学専攻 教授 山田昌弘 氏

【講義 3】

「行動するSDGs～「ごみ」からのアプローチ～」

京都大学大学院 地球環境学堂 准教授 浅利美鈴 氏

概要：

世代や分野を超えて議論することで、連携プロジェクトの種が育つ。持続可能なコミュニティの創出である。そのためには、机上の研究だけでなく、人の流れの中に飛び込み、ゴミとは何かを理解したうえで行動しなければならない。

【講義 4】

「歴史的資源を活用した観光まちづくり」

バリューマネジメント株式会社 代表取締役 他力野淳 氏

概要：

文化財など歴史的資源を活用した観光まちづくりをしているバリューマネジメント株式会社の取組の紹介に関するセミナー。バリューマネジメント株式会社は、全国の様々な歴史建造物 54 棟を活用した活動を展開しており、その代表的な事例として愛媛県の大洲市における取組を紹介している。

・分散型ホテル：まちの賑わいサークル

・まちの資源の活用：国登録重要文化財活用：臥龍山荘、大洲城櫓 3 棟

※大洲城天守泊という稀有な体験を提供することで観光の目玉とすると共に観光宣伝効果を狙う。

②林活議連研修会 「県産材の利用と地域づくり」

・日時：令和 4 年 4 月 28 日 PM:13:00～16:00

・場所：岡谷市役所第 1 委員会室

森林ライター 赤堀楠雄氏

	概要： 長野県産材の利用と地域づくりについて、ロシア産木材の不足や「都市木造」ムーブメントによるカラマツ需要の急増について及びその他民間企業や行政との連携事例について等の講演
広 報	○活動内容 ① 2/9 会派おかや未来研究室のリーフレット（Ver. 2）の作成・配布 ② 通年 会派ホームページと Facebook による活動の発信と報告 ・ ホームページ：http://okalab.info/ ・ Facebook：https://www.facebook.com/okayamirai.lab/ ○活動の実績と効果 ①会派おかや未来研究室のチラシ（Ver. 2）の作成と配布 会派おかや未来研究室の活動やメンバーを紹介したチラシ（Ver. 2）を昨年度に続き、作成（12,000 部）して、今年度は、新聞の折込み（7,700 部）と各自での配布（4,300 部）をすることで、会派活動を広く市民に知ってもらった活動ができた。 ②会派おかや未来研究室の Facebook では、580 人が現在（令和 5 年 3 月 31 日時点）、フォロー中で、また、会派のホームページや Facebook 及び会派メンバーの各自の Facebook で活動報告等の情報発信をタイムリーに行った。
広 聴	○活動内容 ①5/19 辰野町板沢地区最終処分場計画について ②8/19 「議員と本気で語る会 in 上浜」 ③8/25 諏訪圏フィルムコミッションについて ④10/20 TINTt 株式会社の取組について ⑤10/27 Terra Drone 株式会社のドローンとレーザーの測量事業について ○活動の実績と効果 ①辰野町板沢地区最終処分場計画について 湖周地区最終処分場計画の経過と状況についての説明と意見交換 板沢地区最終処分場建設阻止期成同盟会 林龍太郎 氏 辰野町議会議員 向山 光 氏 ・ 日時：令和 4 年 5 月 19 日 AM10:00～12:00 ・ 場所：会派室 ②「議員と本気で語る会 in 上浜」 ・ 日時：令和 4 年 8 月 19 日 PM7:00～9:00

	・場所：上浜公民館 上浜区の壮年会・婦人会主催による「議員と本気で語る会 in 上浜」が開催され、これまでと異なり、双方向での意見交換と情報交換会を実施 ③諏訪圏フィルムコミッションについて 映画の観光資源としての可能性や映画館を活用した居場所づくりの先進事例等についての紹介と意見交換 諏訪圏フィルムコミッション 宮坂 洋介 氏 ・日時：令和4年8月25日 AM10:0～12:00 ・場所：会派室 ④TINTt 株式会社の取組について 岡谷市で地域おこし協力隊を3年間勤め、今年6月にTINTt 株式会社を立ち上げた佐々木千玲氏による事業内容の説明。TINTt はシルク製品の企画・販売から地域活性事業、はたまたコンサルティング事業等を展開 TINTt 株式会社 佐々木千玲 氏 ・日時：令和4年10月20日 AM10:0～12:00 ・場所：会派室 ⑤Terra Drone 株式会社のドローンとレーザーの活用による測量事業について 最新鋭のドローンとレーザー技術を活用した測量事業の内容説明と災害策や山林管理に向けた活用事例の紹介 Terra Drone 株式会社 上村めぐみ氏 ・日時：令和4年10月27日 AM10:0～12:00 ・場所：会派室
要請・陳情	○活動内容 ① 4/28 市へ「食材費高騰に伴う給食費の値上げを防ぐ緊急申入書」提出 ② 11/22 市へ「令和5年度 岡谷市の予算編成に関する要望書」提出 ○活動の実績と効果 ①市長へ「食材費高騰に伴う給食費の値上げを防ぐ緊急申入れ書」（抜粋）提出 「ウクライナ危機等により全国的に原材料費をはじめ、調理の水道光 熱費などの値上がりが見込まれる中、文部科学省は、物価高騰に伴う学校給食費の値上げを防ぎ、保護者の負担増を抑えるため、各自治体の判断で地方創生臨時交付金を活用することを可能とする事務連絡を発しましたが、岡谷市においても、現下また当面の物価高による給食費への影響を防ぎ、美味しく栄養豊かな給食確保のため、地方創生臨時交付金の活用等を含め総合的な検討をされるよう緊急に申し入れいたします。」 ※「食材費高騰に伴う給食費の値上げを防ぐ緊急申入れ書」

	掲載 URL : http://okalab.info/request/ ②市長へ「令和５年度 岡谷市の予算編成に関する要望書」提出 令和５年度予算編成にあたり、これまでの本市の各事業の取り組みの進捗を検証し、また、日頃、市民から寄せられている要望事項に加えて、将来を見据えた本市の政策課題解決に向けて調査・研究、議論を重ねて積み上げたものを要約して、７分野９６事項を要望書にまとめて提出した。 また、市民新聞に予算編成への要望書のダイジェスト版を広告掲載した。 ※「令和５年度 岡谷市の予算編成に関する要望書」 掲載 URL : http://okalab.info/request/
そ の 他	○活動内容 ・ 4/26 会派総会 ・ 会派定例会 計 32 回開催（原則木曜日） ※市民や市民団体との交流を含む ・ 議案勉強会 4 回、理事者との懇談会 4 回 ○活動の実績と効果 昨年度から継続して、会派の理念である『活力ある岡谷の未来を創るため、団結して行動し、議会の機能充実と議員の資質の向上を図ると共に、市民に信頼される政治活動に取り組む』こと、また会派テーマの『10 年後の岡谷市をデザインする』に向けて、調査、研究、研修活動がスムーズに進められるように定期的な意見交換、勉強会、課題共有や意思疎通を図ることができた。 また、コロナ禍で視察、会議、交流会等の制約がある中であったが、コロナの感染状況を見計らって、区や地域で活動する団体との意見交換会や交流会を実施することができ、会派視察を含めて事業計画に沿った活動を可能な範囲で実行することができた。

【活 動 実 績】

※会派活動報告書は年度ごとにまとめ、年度当該年度の収支報告書の提出に合わせ議長に提出するものとする。

※議長は、提出された会派活動報告書を収支報告書と同様に公開するものとする。